

平成30年度 部局長安全衛生パトロール実施される

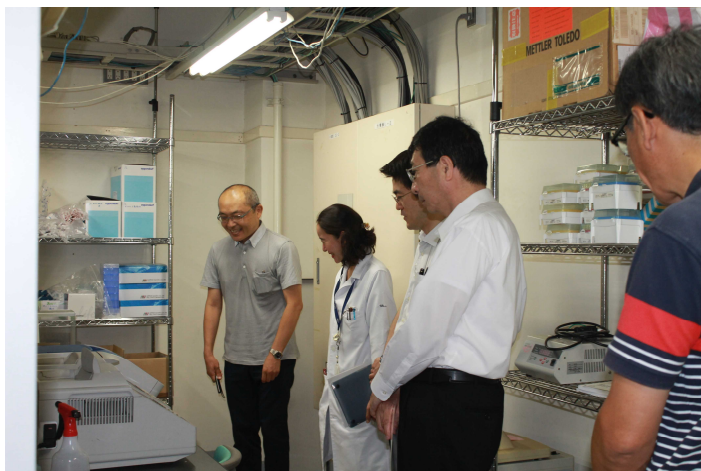
平成30年9月10日（月）、医科学研究所 合同ラボ棟、研究棟を対象として、平成30年度部局長安全衛生パトロールが実施されました。このパトロールは、全学の安全衛生意識を向上させ、部局長自らが安全衛生に対する姿勢を示すことを目的として毎年実施されています。

本年度は、村上善則 所長、中西 真 安全衛生管理室長、古賀道子 産業医および衛生管理者を始めとする関係者9名が、安全管理の現場を巡視しました。村上所長より「今年の夏は国内での災害が多かったが、防災対策が大変重要であることを改めて認識した。合同ラボ棟については、大きな問題はなく十分に対応されている。研究棟については、建物が古く、避難経路等に改善の余地が認められる。防災対策に関する、所からのよりきめ細かな情報伝達が必要と思われる。古い建物の建て替えには、数年以上の計画が必要なので、現時点で可能な防災対策を取らなければならない。また、2つの研究棟に共通して見られた蚊対策や換気対策については、各分野などで対応していただければと思う。今回は全体的にみて、防災対策が適切に行われ、良好と思われた。引き続き安全管理にご尽力頂きたい。」との講評を頂きました。

【合同ラボ 1階 疾患プロテオミクスラボラトリー】



【研究棟 2階 幹細胞セロミクス分野】



【講評 研究棟（玄関）】



撮影：安全衛生管理室 技術専門員 小西知江子